

サステナブルな循環をして進化していく企業

取材
企業名

株式会社エコフォレスト

高校名 愛知県立南陽高等学校

会社の概要

株式会社エコフォレストは、産業廃棄物処分量を始めとして、資源リサイクル業、解体工事業、内装工事業、不動産仲介斡旋業など他分野に渡る事業を行っています。

解体工事で「コワス」、廃棄物処理業で「ステル」、資源リサイクル業で「ウル」、これらをまとめて「コワステール・サポート」として、ワンストップでコストや時間などを削減する独自のサービスを展開しています。

(株)エコフォレストのSDGsの取組

- 産業廃棄物処理業での多品目でのリサイクル
- DXを推進し、時間や場所に関係なく業務にアクセスでき、柔軟にかつスピーディーに業務に対応できる体制
- 「エコフォレストSDGs委員会」を立ち上げ、社員全員にSDGsの理念を浸透させるとともに、持続可能な未来に向けた取組を促進
- 環境イベントへの積極参加、親子向け環境教室の開催

SDGsの取組を始めたきっかけ

産業廃棄物処理を適切に行い、可能な限りリサイクルを行うことは、SDGsが始まる以前から取り組んでいることでした。それをSDGsとして目標に掲げ、会社の中で更に活性化させたとのです。また、世間の「ゴミ屋」というイメージを変え、社員にもSDGsに取り組み、社会の役に立っていることを感じてもらうために、「SDGs」という看板を活用して、様々な事業展開を行うこととしたそうです。



課題や今後の展望

エコフォレストさんの未来の活動分野として、農村部という部署が主となって、農業分野への進出を検討しています。有機肥料で野菜を作っている農園に農業体験に行くなど、現地で見学参加して学ぶことで、更に理解を深めていき、無農薬 有機野菜の栽培や、循環型農業での野菜作りを行っていききたいそうです。取材時にもエコフォレストさんで栽培している無農薬スイカを試食させていただきました。

その他参考になったこと

- エコフォレストさんが産業廃棄物処理業だけでなく、他分野の事業を始めることができたのは、地域との関わりを大切にし、コミュニケーションの中で、新たなニーズや課題が見つかり、新たな事業に繋がっていったこと。
- 定期的にフリーマーケットを開催しており、人々の繋がりを大事にしている。また、不動産仲介も行っており空き家問題に取り組んだり、終活サポートなども行っていること。
- 会社全体でSDGsを進めていくためには、社員一人ひとりの「意識」が大事で、自分事として動ける働きがいのある職場環境を作っていくことを大事にしたいと言っていたこと。



訪問取材の感想

- ・産業廃棄物収集運搬業から始まった会社がどうしてこんなにも廃棄物関係以外の部門が多いのか疑問に思い、質問をしたところ、お客様のニーズに応え続けていったことで部門が増えていったと聞き、驚きが隠せませんでした。
- ・農村部という野菜作りをする活動を行っていると言った時には、「どうして関係のない農業をしているんだろう」と思っていたのですが、高齢者のコミュニティ作りも兼ねていると聞いて、素晴らしいことだと思いました。また、フリーマーケットもコミュニティのためと聞いて、とても社会づくりを大切にしているんだと感じました。

企業から高校生へのメッセージ

学生の皆さんがSDGsというテーマに興味を持ち、私たちの取組を取材してくださったこと、とても嬉しく思います。

SDGsは、より良い未来をつくるための指針であり、次の世代を担う皆さん一人ひとりの行動が、これからの世界をかえることが出来ると思います。